

幸せな社会

もくじ

- ②③ 令和4年度 事業報告・決算
- ④ 成年後見支援センター 市民後見人の紹介
- ⑤ 江別ふれあい福祉の広場開催
- ⑥ ひきこもり当事者と家族の居場所「シエスタ」
- ⑦ 寄付者一覧、福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板

**江別ふれあい福祉の広場
4年ぶりに開催します！**



詳細は5ページに掲載
写真は2019(令和元)年開催のふれあい福祉の広場より



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2023

7月

No. 210

事業報告・決算

地域福祉実践計画の3年目を迎えた令和4年度は、生活困窮者自立支援事業、成年後見支援センター（中核機関）の運営や法人後見事業、コロナ禍における特例貸付を含む生活福祉資金貸付事業等、多岐にわたる多くの相談に対して迅速な対応に努めたほか、生活支援体制整備事業では、生活支援コーディネーターが関係機関と連携して、地域課題を抽出し、課題対応に向けての取り組みを実施しました。

雪処理への支援では、令和3年度の豪雪を受け、社協が行う除雪関連サービスの申込が急増しました。特に、除雪派遣サービスは利用申込の増加に伴い、除雪作業の担い手をどう確保するかが大きな課題となりました。作業員確保のため、広報誌で募集を行ったほか、協力団体等に追加依頼するなどして4年度は希望する全ての世帯にサービスを提供することができましたが、今後も雪処理の担い手確保は喫緊の課題となっています。

地域活動支援では、愛のふれあい交流事業の「地域交流の集い活動」を、訪問活動等に変更した際にも助成金を申請可能とした特例措置を継続し、コロナ禍でも柔軟な対応がとれるよう支援しました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

《基本計画 1》

地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

広報活動による福祉情報の提供

▼社協だより「幸せな社会」の発行
年4回発行。

▼ホームページの運営

社協の運営・事業等の情報を発信。福祉センター貸室予約機能を追加。

生活課題に対応した総合的な相談支援

▼生活困窮者自立支援事業

くらしサポートセンターえべつでは、生活課題に対応した総合的な相談支援を実施。特に、対象者像に合わせた就労支援や居場所創出活動に注力。

また、家計に関する助言や滞納解消及び債務整理に関する支援、貸付の斡旋など相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援。離職・休業等に伴う収入減少により住宅を失うおそれがある方を対象とした住居確保給付金の相談窓口業務を実施。

実績 新規相談407件、延べ相談支援数4,265回、プラン作成79件

▼日常生活自立支援事業

判断能力が十分な方の福祉サービス利用援助や日常生活費の管理を支援。

実績 年度末時点の契約34件（新規契約18件・解約7件）

▼成年後見実施機関の運営及び法人後見業務

江別市成年後見支援センターでは、相談支援や活動支援の充実に向け正職員1名を増員。併せて地域の関係機関や専門職団体と連携を図り、制度を必要とする対象者の早期発見等、相談機能強化のために地域連携ネットワーク協議会を組織。地域向け講演会の開催

等、制度普及活動、市民後見人候補者へのフォローアップ研修や市民後見人個人受任者の活動支援を実施。また、社協による法人後見業務を実施。

実績 新規相談136件、延べ相談支援回数688回、年度末法人後見受任23件（新規受任5件・終了2件）、年度末市民後見人個人受任3件（新規受任0件・終了1件）、市民後見人フォローアップ研修2回

【地域向け講演会】

実績 令和4年10月29日（日）、参加者89人、内容『笑って深める成年後見』暮らしに役立つ成年後見制度とは』

▼貸付金を活用した相談支援
生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸付を実施。

実績 福祉費2件、教育支援資金14件、緊急小口資金115件、総合支援資金105件、福祉金庫58件

▼ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティア3団体の協力を得て電話相談を実施。

実績 71件

▼生活支援体制整備事業

住民主体で行うサロンなどへの参加を通じての情報収集及び、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働により地域課題を抽出し課題対応に向けた協議を行うとともに市民向け学習会を実施。また、通いの場情報誌・訪問だより・社協広報誌などを通じ活動の周知に注力。

実績 関係機関との情報交換・情報提供活動95回、地域活動への参加109回



社協の相談支援事業 ●生活安定のための貸付金を活用した相談支援（地域福祉係 ☎385-1234）

●経済的困窮・失業・引きこもりなど生活上の悩みを抱えている方の相談支援（くらしサポートセンターえべつ ☎375-8987）

●成年後見制度利用の相談や申立手続支援など（江別市成年後見支援センター ☎375-8988）

《基本計画 2》 ボランティア活動で進める 福祉の環境づくり

ボランティアセンターの運営

▼ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

実績 登録ボランティア個人167人・団体60団体、施設・団体への支援・相談活動などボランティア派遣延べ1,281人

《基本計画 3》

市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

愛のふれあい交流事業の実施

▼愛のふれあい活動

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らし高齢者などへ安否確認などの助け合い活動に取り組み自治会を支援。

実績 実施65自治会

▼地域交流の集い活動

地域の高齢者などの閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組み自治会を支援。コロナ禍に対応する活動支援として特例助成金を継続。

実績 実施53自治会、実施事業155事業

企業団体の地域貢献活動への支援

▼活動備品の貸出

企業・自治会・団体などが行う地域行事へ活動備品(テント・机・椅子)の貸出。

実績 活動備品を延べ30施設・団体へ貸出

▼企業・団体の社会貢献活動への協力

緊急支援用食糧・お米券寄贈、介護用電動ベッド寄贈、福祉施設への清涼飲料水寄贈、高齢者宅の除雪作業、車いす点検・整備作業。

《基本計画 4》

体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉の心を育む・知識を深める

▼ワークキャンプ

高校生を対象に冬休み期間に福祉施設での体験学習を実施。

実績 参加者3人

学校の福祉学習活動への協力

▼総合的な学習の時間に協力的体験用具や車いすの貸出。

実績 高齢者疑似体験セット、車椅子貸出15校・2団体

《基本計画 5》

自立した生活を支援する

福祉サービスの提供

雪処理への支援

▼福祉除雪サービス

高齢者世帯などへ公道除雪後に残る置き雪を専用車で除雪。

実績 利用974世帯

▼除雪派遣サービス

高齢者世帯などの生活通路を作業員が除雪。

実績 利用168世帯

▼えべつ雪の処理情報誌の発行

市内の除雪・排雪などを行う事業所を冊子にまとめ、雪処理情報を提供。

高齢者・障がい者の在宅生活を支援

▼給食サービス

食事の支度が困難な高齢者世帯などに夕食を宅配。配送時に安否を確認。

実績 利用157世帯

▼障がい児者移動支援事業

身体・知的障がい児者の外出・余暇活動などの介助のためにガイドヘルパーを派遣。

実績 利用延べ511件

▼福祉機器の貸与

疾病・障がいのある方などに福祉機器を貸与。

実績 車椅子969件、介護用電動ベッド496件、歩行器209件(いずれも延べ月数)

農村地域児童の子育て支援

▼北光保育園・野幌季節保育所の運営

《基本計画 6》

地域に信頼される社協運営のための組織づくり

▼地域福祉実践計画の進行管理

合同部会で計画の進行状況を管理・評価。

▼福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点施設・高齢者が集う交流の場として新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら運営。センター利用者の利便性向上を図り、オンライン予約を実施。センター西側駐車場の整備を実施。

決算

令和4年度サービス区別資金収支計算書 (単位:円)

サービス区分	予算額	収入決算 (A)	支出決算 (B)	収支差引 (A - B)
法人運営事業	93,705,000	92,462,343	91,462,045	1,000,298
社会福祉基金運営事業	15,267,000	15,238,308	15,238,308	0
調査・研究事業	446,000	439,313	439,313	0
広報事業	5,782,000	5,786,607	5,786,607	0
顕彰事業	190,000	189,394	189,394	0
江別ふれあい福祉の広場事業	4,000	3,192	3,192	0
ボランティアセンター事業	2,839,000	2,560,670	2,560,670	0
住民福祉推進事業	291,000	292,375	292,375	0
愛のふれあい交流事業	3,944,000	3,683,324	3,683,324	0
給食サービス事業	36,605,000	35,920,256	35,920,256	0
福祉除雪サービス事業	41,486,000	41,283,496	41,283,496	0
除雪派遣サービス事業	3,380,000	3,607,382	3,607,382	0
福祉機器貸与事業	419,000	397,250	397,250	0
生活困窮者自立支援事業	802,000	885,147	885,147	0
生活支援体制整備事業	5,192,000	5,108,000	5,108,000	0
移動支援事業	3,334,000	3,331,045	3,331,045	0
成年後見支援事業	16,643,000	16,663,188	16,663,188	0
福祉サービス利用援助事業	1,118,000	1,105,000	1,105,000	0
共同募金配分金事業	4,262,000	4,192,055	4,192,055	0
生活福祉資金貸付事業	16,800,000	16,410,905	16,410,905	0
福祉金庫貸付事業	5,045,000	5,301,744	2,175,304	3,126,440
総合社会福祉センター運営事業	29,350,000	28,961,253	28,961,253	0
北光保育園運営事業	19,684,000	20,135,003	20,135,003	0
野幌季節保育所運営事業	5,361,000	5,448,130	5,448,130	0
内部取引相殺額	△5,206,000	△11,188,356	△11,188,356	0
合 計	306,743,000	298,217,024	294,090,286	4,126,738

掲載事業所募集 社協では、雪の処理(除排雪、屋根の雪下ろしなど)を実施している事業所情報を掲載する「えべつ雪の処理情報誌」を発行し、市民に情報提供しています。掲載内容は、事業所名、連絡先、業務内容、費用、請負条件など。令和5年10月発行の2023-24年版への掲載を希望される事業所は、社協(☎385-1234)までご連絡ください。

江別市成年後見支援センター市民後見人を紹介します！

～市民後見人が安心した生活を送るための支援をしています～

江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の利用者(被後見人等)が日常生活を安心して送れるよう支援する市民後見人を養成しています。

「市民後見人」とは、弁護士や司法書士などの資格をもたない親族以外の市民による成年後見人等です。

今回は、実際に市民後見人として活躍している藤森政師さんに普段の活動で感じる事等についてお話を伺いました。



藤森政師さん：自衛隊退職後、平成27年開催の市民後見人養成講座を受講。現在、法人後見支援員として1件、市民後見人個人受任を1件担当。

Q. 市民後見人になったきっかけは？

A. 以前勤めていた職場で同じ仕事をした先輩とOB会で久しぶりに会ったときでした。退職後、何処で仕事をされているのか伺ったところ「今は後見人をしている」とのことでした。耳慣れない言葉で後見人とはなんだろうと思いました。詳しい話はできなかったのですが、それが初めて耳にした後見人という言葉でした。その後、広報えべつで後見人の養成講座が江別市で開かれるということ知り受講しました。「後見人とはなんだろう…」という好奇心がきっかけになりました。

Q. 実際に活動してみた感想は？

A. 後見人の活動は自分で生きていくための判断を十分にできない方のお世話をする事です。初めてお会いするときは、どのような人なのか、優しい人なのか怒りっぽい人なのかと緊張しました。会ってみると穏やかな女性でした。最初に自己紹介をして「これからよろしくお願いします」とあいさつを交

わし施設をあとにしました。後日、施設の職員さんに話を聞くと、当日は私たちが来るということでお洒落をして待っておられたとお聞きました。

月1度の活動では、施設の利用料金の支払いを行います。併せて、食事は美味しいですか？何か困ったことはありませんか？など、その時々のお話をしながら、顔色や表情などの様子も見るようにし、異変等があれば社協に報告します。毎日穏やかに過ごされることを願いながら、雨の月も風の月も吹雪、酷暑の月も毎月お話を聞きに行っています。この活動は、健康管理が第一だと思います。自分が健康で適切な判断ができなければ被後見人に不安を与えるからです。

判断が難しいと思うことは、社協の担当者が相談にのってくれますので心配いりませんでした。

Q. やりがいは？

A. その方の一生涯に寄り添えることにやりがいを感じます。なかなかできない体験です。



社協担当職員との情報共有や状況報告を定期的に行い、市民後見人が抱える疑問や不安を解消します。

※用語説明

○成年後見制度…認知症や知的障がい、精神障がいによって物事を判断する能力が十分ではない方について、家庭裁判所に申立をすることで本人の権利を守る援助者(成年後見人等(後見人、保佐人、補助人))を選任し、本人を法律的に支援する制度です。

○市民後見人個人受任…江別市成年後見支援センター主催の市民後見人養成講座を受講後、市民後見人候補者登録をし、家庭裁判所から成年後見人等として選任されることです。

「第38回江別ふれあい福祉の広場」開催

とき 7月16日(日)10時～

ところ 江別市総合
社会福祉センター
(錦町14-87)

コロナ禍により、令和2～4年度の3年間中止しておりました「江別ふれあい福祉の広場」を4年ぶりに開催します。ボランティア団体などのバザーや体験コーナー、よさこい演舞やビアガーデンなどでお楽しみください。

今年も、花火を合図に開会しますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております！

《ふれあいコーナー》

★お子様と一緒に…

「おはなし会、おもちゃ図書館」



★お友達、
ご家族で…

「点字体験」

「福祉機器展示」



《ふれあい ビアガーデン》



やきとり
おでん
そば
のり巻き
生ビール
ジュース
フランクフルト
ほか



《ふれあいイベント》

★ハワイアンフラ ★手話歌 ★市民手話教室

★ミニコンサート ★豊太鼓 ★太極拳演武

★よさこい演舞 ★ふれあい演芸大会

顕彰式

☆社会福祉功労者顕彰 ☆赤い羽根助成金交付式



《ふれあいバザー》

※販売開始時間 10時

バザーコーナーでは、日用品、手作り品、衣類、陶芸作品などの販売をしています。施設利用者の手作り作品や、福祉団体会員の趣味作品等、趣向を凝らした作品が多数出品されます。

※バザーの益金は、福祉団体・ボランティア団体の活動及び社会福祉基金に寄付されます。



※雨天の場合または準備の都合上、内容を一部変更する場合がありますのでご了承ください。

主催:江別ふれあい福祉の広場実行委員会・江別市社会福祉協議会・江別市共同募金委員会



会場の様子(令和4年度開催)

昨年度に引き続き、NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークと、くらしサポートセンターえべつにおいて、ひきこもり当事者・親の会「居場所シエスタ」を共同開催します。

ひきこもり経験のあるピア・スタッフから体験談を聞くことが出来たり、フリートークでひきこもり当事者ご家族それぞれが交流できる場となっています。

8月から開催予定となっていますが、詳しい日程については決まり次第ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

ひきこもり当事者・親の会
「居場所シエスタ」の開催

江別グリーンライオンズ
クラブ様 ▼お米券



江別市高齢者クラブ連合会様 ▼ご縁(五円)募金により体の不自由さを体験する教材(写真は目録贈呈)



《生活困窮者への食料品支援や福祉教材を寄贈いただきました》

地域貢献・社会貢献のカタチ
社協は「地域に貢献したい」の懸け橋になります

ダイナム江別店様 ▼食料品



カーブス様 ▼食料品



●ボランティアによる悩みごとと電話相談●

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞きます。

【相談無料】 ☎389-7830 なやみゼロ

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごとと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・3・5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

医) 英生会 野幌病院 JR野幌駅前

野幌病院 地域医療相談室	TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のっぽろ	TEL 381-1133
老健のっぽろ通所リハビリテーション	TEL 381-1177
在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のっぽろ 訪問看護科	TEL 381-7877
訪問看護ステーション のっぽろ 訪問リハビリテーション科	TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)	TEL 389-5420

医療法人 友愛会 友愛記念病院

内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科

(療養・認知専門) 江別市新栄台 46 番地 1

TEL(011)-383-4124 <http://www.yuainen.or.jp/>

訪問看護ステーション ゆうあい

お気軽にご相談ください。TEL(011)-380-5678

生活困窮者の相談窓口 くらしサポートセンターえべつ『くらサポ』では、経済的に困窮している方、失業された方、引きこもりやニートで悩んでいる方など生活上の悩みを抱えている方の無料相談を行っています。

▶ くらサポ ☎375-8987 相談受付:平日8:45～17:15(年末年始は休み)

善意のご寄付

ありがとうございました

令和5年3月1日～令和5年5月31日(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して

公益社団法人北海道宅地建物取引業協会札幌東支部 30,000円、愛郷ボランティアの会 50,000円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して

やぎ塾 6,000円、大麻木版画同好会 10,000円、野幌公民館 1,700円、歌謡サークルきずな 10,000円、さわやかクラブ 8,000円

▼チャリティー益金から

2023チャリティーバザー(江別更生保護女性会、江別市女性団体協議会、江別市赤十字奉仕団、江別市母子会) 40,000円

社協会長

おじゃましました

(3月～5月)
道社協評議員会、江別

市行政審議会、家庭生活カウンセラーグループ総会、江別市家庭問題研究会総会、民生委員児童委員連絡協議会総会、江別市遺族会総会、江別市高齢者クラブ連合会総会、江別市身体障害者福祉協会第65回定期総会、江別更生保護女性会定期総会、石狩地区市町村社協連絡協議会総会、石狩地区第1回市町村社協会長・事務局長会議、江別市母子会定期総会、道社協監事監査、高齢者クラブ連合会女性部の集い

福祉センター西側駐車場の舗装工事に伴う駐車禁止のお知らせ

舗装工事の実施に伴い、次のとおり駐車禁止いたします。

工期

令和5年8月1日(火)～

4日(金)

※前日18時頃からロープをはります。

※臨時駐車場として、工事期間は、市役所北

側駐車場(旧江別高校跡地)の西側を借用します。ご不便をおかけしますがご理解の程お願いいたします。

ボランティア活動保険における新型コロナウイルスの取扱いについて(変更のお知らせ)

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが、特定感染症から、五類に変更したことに伴い、ボランティア活動保険における保険金支払の取り扱いが変更になりました。

今後、ボランティア活動中に新型コロナウイルスに感染した場合においても、季節性インフルエンザ等と同様の取り扱いとなることからボランティア活動保険の保険対象外となります。なお、一類～三類の感染症についてはこれまで同様、保険対象となります。



福祉センター開館・休館のお知らせ

開館日時

・月曜日 9時～17時
・火～金曜日 9時～21時
※月曜日が祝日の日は、休館します。火～日曜日は、祝日も開館しています。

7月～9月の休館日

7月13日(木)～18日(火)
※ふれあい福祉の広場開催に伴う臨時休館
9月18日(月)

紙・事務用品・オフィス家具
OA 機器・学校教材

(有) **カク**

江別市高砂町10番地(市役所横)
電話(代)382-2553・FAX385-7878

損害保険・生命保険代理業



商号：有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

0120-74-0433

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します



江別印刷業協同組合

事務局 〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷(株)内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有) ア・ノ 研究 社	笹 岡 印 刷 (株)	(株) のっぽろ印刷
	(有) トラスティプリント	藤 塗 装 工 業 (株)	(有) 山田印章印刷
	ア ス カ 印 刷	〈賛助会員〉(有) ぐらしの新聞社	

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

7 社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の通いの場情報！地域の活動を紹介します

江別市高齢者クラブ連合会女性部主催 高齢者ふれあいサロン



開催日/ 第3水曜日 11時00分～13時00分
場 所/ 江別市総合社会福祉センター（鋼14-87）
参加費/ 無料
問合せ先/ 385-1247（江別市高齢者クラブ連合会事務局）

江別市高齢者クラブ連合会女性部では、毎月1回高齢者ふれあいサロンを開催しています。気軽に集まれる憩いの場として、ゲームやおしゃべりをしながら楽しい時間を過ごします。コロナ禍でやむを得ず休止した時期もありましたが、昨年春から再開しました。今年度も講師を招いての出前講話やボッチャ（パラリンピックの正式種目）の体験など、さまざまな企画を予定しています。性別問わずどなたでもご参加いただけます。まずは見学だけでも大歓迎ですので、お気軽においでください。

また、女性部の友愛活動の一環として、サロン開始前の時間には、誕生日を迎える施設入所者の方々に向け、お祝いのメッセージを添えた絵手紙づくりにも取り組んでいます。その他、タオルの収集（市内6か所の施設に寄贈）、ご縁募金や慈善バザーなどの活動も年間を通して行っています。こちらも見学・体験が可能です。一緒に活動してみませんか。お気軽にお問合せください。

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します

江別市水上安全赤十字奉仕団



連絡先(担当:星野)
Eメール choshi0714@gmail.com

私たち江別市水上安全赤十字奉仕団は、赤十字の理念である「人道博愛」に基づき、人の命と健康を守るボランティア活動をしています。

水の事故防止と水難救助のために、着衣泳体験学習指導、海水浴場監視活動及び海浜パトロール、北海道水泳連盟公式競技大会ライフセーバーなどを行っています。

また、赤十字水上安全法救助員養成講習、赤十字水上安全法短期講習（プールの安全管理等）、救急蘇生法講習（心肺蘇生/AED、気道異物除去）も実施しています。

団員は赤十字水上安全法指導員・救助員、赤十字救急法救急員、日本スポーツ協会水泳指導員など32名で活動しています。

私たちは、地域社会に貢献し、安心して健やかな生活を守るために、今後も活動を続けてまいります。

広報編集委員会委員

今林 隆一郎

色とりどりのつつじが咲き競い、目にまばゆい若葉が陽に輝き、吹く風が爽やかな季節となりました。いつもにも増して感じるこの解放感は、コロナ禍という長いトンネルをやっと抜け出たという思いが大きいと感じます。3年の間、活動を制限されたが、元の生活に戻れる喜びが、季節の到来と共に心を軽やかにしてくれています。但し、コロナが完全に収束したかどうかはしばらく様子を見る必要があります。この厄介なウィルスがどこで、どのように発生し、どのように拡散したのかというメカニズムが完全に解っておらず、当面ワクチン接種しか対策がないのが気掛かりです。しばらくは感染対策を怠らず、この初夏の季節を大いに楽しみましょう。今月号は、コロナ禍の中、工夫しながら活動した令和4年度の事業報告、更に4年ぶりに開催される「江別ふれあい福祉の広場」をご案内しております。今年が安寧に過ぎることを祈っています。

編集後記

赤い羽根共同募金は、社協だよりにも役立てられています

